

スポーツYAMATO

# 脱どら焼き投法だ 大依ベストピッチ

# 一宮オープン 初日1勝1分



シーズンオフに絶好調を迎えると言われていた背番号1を背負う大依が、一宮オープン初戦、東海学園大学との一戦で素晴らしいピッチングを披露した。この日大依は、最速92キロのストリートと手先の器用な大依が変幻自在に操る巧みな変化球を織り交ぜ、4回2死まで投げ、3つの三振を奪い、東海学園大学打線を無失点に抑えた。大依本人は、昨年、本誌で「どら焼き投法」と命名した事がとても気に入らなかつたようで、何とか好投してこの名前を返上したいと言った強い気持ちがあったと、好投の要因を冷静に分析した大依。もう「どら焼き投法」とは呼ばせない。これからは、「脱どら焼き投法」で挑んでいきたい。大依が見据える開幕節の先発投手がいよいよ現実味を帯びてきた。開幕節でゴールされる「先発投手 大依春奈 背番号1」を期待しよう。

## 立川会心の先制弾

東海学園大学との一戦で先制点を立川のバットが叩き出した。2回裏先頭バッターの立川は、打った瞬間に入ると分かるライトオーバーの会心のホームランを放った。打った本人も手ごたえは十分で

納得の一撃。「気持ちの良いホームランだった」と立川。今シーズンから右足を大きく上げるバッティングフォームに変えた立川。そのフォームが少しづつハマってきたようだ。パンチ力のある立川の打撃は魅力十分。開幕節を1カ月後に控え、立川の調子も徐々に上がってきたようだ。一宮オープン初日の1試合目は東海学園大学に3-0で勝利。2試合目の平林金属との一戦は3-3の引き分け。2日目は、1試合目はシトリンと2試合目は静甲と試合を行う。

